

広報

ただみ

4

2018 月号

No. 575

平成30年4月10日



今月の表紙

今月の表紙は、3月3～4日に開催された「TADAMIスノースポーツフェスティバル2018」で、雪上フットサル競技に出場する「明和小Aチーム」の皆さんです(緑色のビブス)。

町内外の全4チームが参加した同競技のキッズ部門は、選手たちが果敢に相手ゴールを目指し、見事「明和小Aチーム」が優勝を飾りました。

(関連記事:P16)

<特集>

町組織機構の一部再編	2～3
役場機能の暫定移転	4～5
平成30年度当初予算	6～7
雪まつり「フォトコン」・「ミニ雪像コンテスト」	8～9
町内各地で卒業式・満了式	10～11
《News&flash》	12～13
《町の話》	14～17



組織改編

町民ニーズへの対応や行政課題解決に向け組織機構を再編

4月1日から町組織の一部が変わりました



組織の再編で充実した行政サービスを図る

只見町では、行政サービスの充実と効率化を図るために、4月1日から町の組織の一部を再編しました。

これは、多様化する町民ニーズにきめ細やかに対応することと、少子高齢化に伴う人口減少問題やJR只見線全線再開通、国道289号八十里越開通や「只見ユネスコエコパーク」の推進など様々な行政課題に、限られた職員数で最大限の効果を発揮できるように、7課14係から6課13係に再編成しました。

組織機構改革は、平成26年4月1日に実施してから4年ぶりとなり、効率的な行政経営と質の高い行政サ

ービスの提供、様々な行政課題の解決を目指します。

本号では、組織変更後の各課の名称や主な業務内容、組織再編のポイントについてお知らせいたします。

第4次只見町行政改革大綱にもとづいた組織機構改革

この組織機構改革は、本年2月に策定した「第4次只見町行政改革大綱」にもとづいて行われています。

大綱には、「組織機構の最適化」や「事務事業の再編・整理・廃止・統合」など多くの項目が盛り込まれており、時代とともに変化する行政課題へのスピーディーな対応と的確な行政運営が求められています。

組織改編のポイント

■人口減少対策とユネスコエコパークの推進

人口減少対策やユネスコエコパークを推進するために、「総合政策課」から「地域創生課」に課名を変更し、新たな係を設置。これにより、雇用の創出や定住・移住対策、只見ユネスコエコパークの推進に取り組んでいきます。

■多発する災害対策の強化

多発する災害などに対応するために、「農林振興課」と「環境整備課」を統合し、「農林建設課」を新設。道路・河川・建築・農林部門の連携を図り、非常時にスピーディーな対応ができる体制を構築します。

平成30年4月1日からの

町の組織機構図

■下記の組織機構図は、改編により変更があった課名・係名・業務内容について青文字で記しています。

課名	係名	主な業務内容
総務課	総務係	町長秘書、職員、議案、庁議
	財政係	財政、財産管理、行財政改革
(新) 地域創生課 (旧：総合政策課)	創生企画係	総合計画、人口減少対策、地方創生、移住・定住対策
	広報広聴係	広報・広聴、統計
	ユネスコエコパーク推進係	ユネスコエコパーク、ブナセンター
町民生活課	税務係	町税、賦課・徴収
	町民係	戸籍、住民登録、消防・防災、水道・集落排水（届出）、廃棄物処理、町営住宅（届出）
保健福祉課	保健係	後期高齢、国民健康保険、検診事業
	福祉係	介護保険、地域包括ケアシステム、児童、高齢者、障がい者福祉
(新) 農林建設課 (旧：農林振興課) (旧：環境整備課)	農林係	農林水産業の振興、鳥獣被害対策、土地改良
	建設係	道路、河川、建築、砂防、治山、水道・集落排水事業（工事）、農地、林地
観光商工課	観光係	観光施設管理、交流事業
	商工係	商工業振興、雇用対策
会計室		町公金の収入・支出
振興センター	只見振興センター	地域づくり、生涯学習、集落組織の支援
	朝日振興センター	地域づくり、生涯学習、集落組織の支援、諸証明の交付
	明和振興センター	地域づくり、生涯学習、集落組織の支援、諸証明の交付
教育委員会	学校教育係	学校経営、教育委員会庶務、高校振興対策
	生涯学習係	社会教育、芸術文化、文化財保護、スポーツ推進
議会事務局		議会庶務、議事、調査、監査委員事務
農業委員会事務局		農業委員会庶務

■各振興センターの情報共有の強化

地域づくりの核となる各振興センターの事業を総合的に推進・連携を図るために、三振興センターの統括者を設置します。統括者は、各振興センター長と連携し、共通業務の調整や情報の共有を図りながら事業に取り組んでいきます。

■住民生活に身近な窓口の統合

住民生活に密着した水道の届け出やごみ処理、町営住宅の入居手続き関係などを町民生活課へ一本化（保健福祉課の保険業務などは別です）。窓口・出納業務を統合し、町民の利便性向上を図ります。

役場機能を町下庁舎と駅前庁舎に移転

「役場旧庁舎暫定移転」のお知らせ

問 総務課 総務係

現在の役場旧庁舎は、昭和 35 年に建築されてから 57 年が経過し、老朽化が進行しています。特に問題となっているのが「耐震性」で、耐震診断の結果、震度6強以上で倒壊する危険性がある C ランクとされています。

そこで町では、来庁する町民の方々や働く職員の安全を確保するために、旧庁舎の機能を使用可能な公共施設に暫定移転することを決定しました。

本号では、役場旧庁舎機能の暫定移転についてお知らせいたします。



▲役場機能を移転する役場旧庁舎



只見町役場「町下庁舎」 (旧只見中学校)

〒968-0421

南会津郡只見町大字只見字町下2591番地の30

※市外局番(0241)

階	課名	係名	電話番号	FAX番号	移転時期
1階	農林建設課	農林係(農業委員会・土地改良区)	82-5230	82-2845	3月19日 移転済
		建設係	82-5270		
	選挙管理委員会		82-5130	—	
2階	総務課	総務係	82-5210	82-2117	5月初旬 移転予定
		財政係			
	地域創生課	創生企画係	82-5220		
		広報広聴係			
		ユネスコエコパーク推進係			
教育委員会	学校教育係	82-5320	82-2337		
	生涯学習係				
3階	議会事務局		82-5300	82-5222	



只見町役場「駅前庁舎」 (旧役場新庁舎)

〒968-0498

南会津郡只見町大字只見字雨堤1039番地

※市外局番(0241)

階	課名	係名	電話番号	FAX番号	移転時期
1階	町民生活課	税務係	82-5110	82-2104	5月初旬 移転予定
		町民係	82-5100		
	会計室		82-5120		
2階	観光商工課	観光係	82-5240	82-5235	
		商工係			

町下庁舎と駅前庁舎へ
暫定的に移転します

現在の役場旧庁舎の機能を、2つの施設に暫定的に移転します。1つ目の施設は、教育委員会や議会事務局などが入っている旧只見中学校で、この施設を「町下庁舎」として一部組織を移転します。また、もう1つの施設は耐震性に問題がない役場新庁舎部分で、この施設を「駅前庁舎」として町民生活課や観光商工課などの部署を移転します。移転先の部署は上記一覧をご覧ください。

役場旧庁舎の暫定移転は、工事などの関係により段階的に進めています。3月19日には農林振興課と環境整備課(4月1日より農林建設課)が本庁舎から町下庁舎に移転しました。また、他の課についても、改修工事完了後に移転し、5月初旬までに移転が完了する予定です。

暫定移転に際し、皆さまにご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

これが只見町の予算です

◆平成30年度只見町予算

平成30年度予算は、第七次只見町振興計画に示したづくりの理念、基本的施策に基づき編成し、地域の社会経済的な発展を目指し、各種事業に取り組みたいきます。

一般会計の予算規模は55億7,800万円となり、前年度対比4億3,600万円の増、8.5%の増となっています。また、特別会計の合計額は26億7,000万円となり、前年度対比1億2,000万円の増、4.8%の増です。

◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が70.2%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の37.8%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、繰入金(繰入金全体の10.5%)で、前年度に比べて1億2,766万円の減額となっています。町税は歳入全体の15.3%で、前年度に比べて1,702万円の減額となっています。

◆一般会計 歳出

歳出は、総務費の占める割合が最も高く16.2%となっています。主な事業は、明和振興センター耐震改修及び庁舎暫定移転、ふるさと館田子倉改修事業などです。

次に、民生費は14.1%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

続いて、消防費は13.0%となっています。これは、防災行政無線のデジタル化改修工事の実施及び南会津広域消防庁舎の建設によるもので、昨年に比161.5%の増となっています。

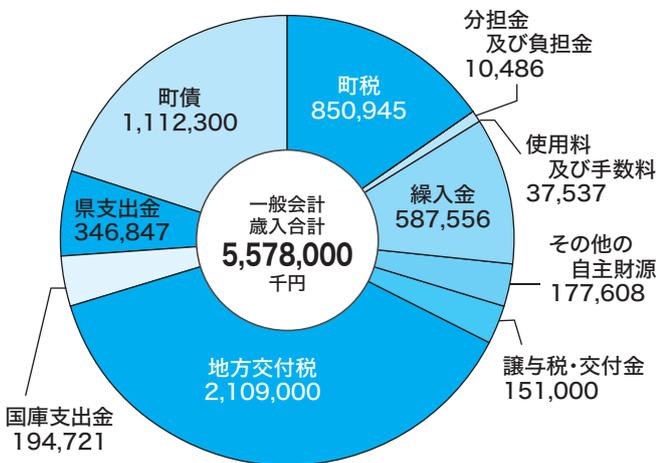
その他、土木費、教育費、農林水産業費、公債費、衛生費、土工費の順になっています。

土木費では、除雪機械の整備、町道改良工事、定住促進住宅整備などを実施します。

教育費では、外国語指導助手の小学校配置、放課後児童対策、公営塾の運営などに取り組みます。

農林水産業費では、地域活動の支援、遊休農地などの解消、新規就農対策を実施します。

7,800万円



■町税の内訳

町民税	1億5,540万5千円
固定資産税	6億5,833万2千円
軽自動車税	1,306万1千円
町たばこ税	2,080万4千円
入湯税	334万3千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)…………… 4,422人

■一般会計支出額(使われるお金の額)…………… 1,261,420円

■町税負担額(納めていただくお金の額)…………… 192,434円

■歳入

(単位:千円)

項目	30年度	構成比	29年度	増減率
町税	850,945	15.3%	867,972	-2.0%
地方譲与税	60,000	1.1%	55,000	9.1%
利子割交付金	500	0.0%	200	150.0%
配当割交付金	700	0.0%	400	75.0%
株式等譲渡所得割交付金	500	0.0%	200	150.0%
地方消費税交付金	76,000	1.4%	73,000	4.1%
自動車取得税交付金	12,000	0.2%	10,000	20.0%
地方特例交付金	600	0.0%	500	20.0%
地方交付税	2,109,000	37.8%	2,053,000	2.7%
交通安全対策特別交付金	700	0.0%	700	0.0%
分担金及び負担金	10,486	0.2%	12,589	-16.7%
使用料及び手数料	37,537	0.7%	35,551	5.6%
国庫支出金	194,721	3.5%	295,534	-34.1%
県支出金	346,847	6.2%	247,792	40.0%
財産収入	71,674	1.3%	18,770	281.9%
寄付金	5,001	0.1%	8,001	-37.5%
繰入金	587,556	10.5%	715,219	-17.8%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	100,932	1.8%	58,871	71.4%
町債	1,112,300	19.9%	688,700	61.5%
歳入合計	5,578,000	100.0%	5,142,000	8.5%

■歳出

(単位:千円)

項目	30年度	構成比	29年度	増減率
議会費	77,751	1.4%	75,413	3.1%
総務費	905,168	16.2%	848,814	6.6%
民生費	789,134	14.1%	733,564	7.6%
衛生費	383,454	6.9%	368,091	4.2%
労働費	2,557	0.0%	2,513	1.8%
農林水産業費	528,257	9.5%	500,164	5.6%
土工費	317,009	5.7%	412,585	-23.2%
土木費	592,856	10.6%	713,418	-16.9%
消防費	726,842	13.0%	277,981	161.5%
教育費	562,833	10.1%	631,995	-10.9%
災害復旧費	195,298	3.5%	15,710	1143.1%
公債費	467,337	8.4%	531,391	-12.1%
予備費	29,504	0.6%	30,361	-2.8%
歳出合計	5,578,000	100.0%	5,142,000	8.5%

平成30年度の主な事業

■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 1,603万円 ユネスコエコパーク推進事業
- 雪と共存するまちづくり
 - 2,200万円 除雪機械更新事業
 - 1,600万円 高齢者等除雪支援事業
 - 500万円 克雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
 - 13,134万円 定住促進住宅建設事業
 - 5,000万円 町営住宅長寿命化事業
 - 4,935万円 道路新設改良事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 11,030万円 只見統合簡易水道整備事業

■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
 - 2,113万円 奥会津・只見教育振興協力隊活用事業
 - 1,091万円 語学指導事業
 - 320万円 未来の自分設計奨励金交付事業
- 家庭教育力・地域教育力の向上
 - 1,771万円 放課後子ども教室事業
- 魅力ある生涯学習の推進
 - 113万円 地域人材育成事業
 - 53万円 芸術文化事業
- 地域文化の振興(地域で育まれた人の技・物・食の伝承)
 - 2,645万円 民具収蔵庫整備事業
 - 1,721万円 八十里越調査事業

■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターでの住民交流を主体とした地域づくり
 - 5,016万円 明和振興センター耐震改修事業
 - 920万円 集落運営支援交付金
 - 900万円 自然首都只見地域づくり交付金
- 総合的な土地利用・公共交通体系の確立
 - 2,034万円 新多目的交通システム運営補助事業
 - 1,030万円 JR只見線全線再開通事業
 - 986万円 観光交通事業

■住みやすいまちづくり

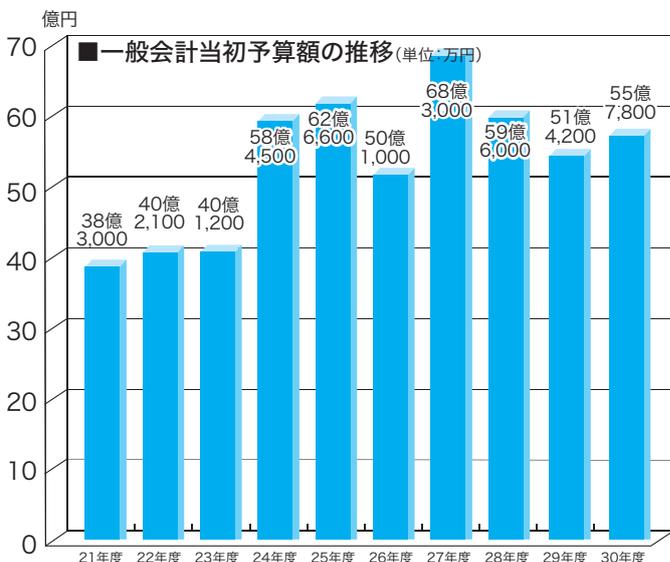
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
 - 1,584万円 18歳以下医療費無料化事業
 - 1,200万円 健やか発育・発達支援事業
 - 600万円 学校給食支援事業
 - 350万円 子宝祝い金事業
- 安心して暮らせるまちづくり
 - 27,734万円 防災行政無線デジタル化事業
 - 4,582万円 朝日診療所備品整備事業

年中、年長児童の
保育料が無料です

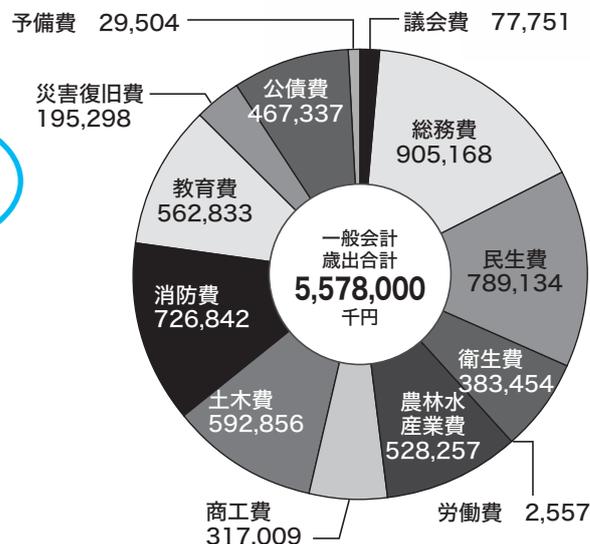
■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎ託す、プライド農業の実践
 - 1,000万円 稲作担い手農家生産基盤整備支援事業
 - 977万円 担い手育成事業
 - 252万円 遊休農地等解消支援事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 327万円 森林所有者情報活用推進事業
 - 200万円 地元産材活用支援事業
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
 - 1,740万円 プレミアム商品券発行事業
 - 250万円 雇用促進奨励金事業
 - 250万円 U・Iターン等促進助成事業
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
 - 1,558万円 観光まちづくり協会補助金
 - 1,409万円 地域おこし協力隊活用事業

お金はどこから来て、
どこへ行くの？



一般会計 予算総額 55億



■特別会計予算

(単位: 千円)

会計区分	30年度	29年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	514,000	585,000	-12.1%
国民健康保険施設特別会計	466,000	462,000	0.9%
後期高齢者医療特別会計	142,000	135,000	5.2%
介護保険事業特別会計	716,000	720,000	-0.6%
介護老人保健施設特別会計	262,000	262,000	0.0%
地域包括支援センター特別会計	11,000	10,200	7.8%
簡易水道特別会計	250,000	222,000	12.6%
集落排水事業特別会計	295,000	304,000	-3.0%
朝日財産区特別会計	14,000	14,400	-2.8%
観光施設事業特別会計	0	44,000	-100.0%
交流施設特別会計	0	63,000	-100.0%
合計	2,670,000	2,821,600	-5.4%

※観光施設事業、交流施設特別会計は平成30年3月31日に廃止しました。

第46回 只見ふるさとの雪まつり

フォトコンテスト入賞作品決定!



只見町長賞

「福を撒く」

高橋 順一さん
(いわき市)



審査員特別賞

「戌辰の節目に咲く華」

後藤 東吉さん
(福島市)



ティエヌアイ工業(株)社長賞

「華やかな鶴ヶ城」

山崎 篤只さん(福島市)



優秀賞

「青鬼参上」

善養寺新二さん
(埼玉県)



優秀賞

「タッチ!」

蛭田 真一さん
(いわき市)

〈入選者紹介〉

- 馬場 充さん(只見町)
- 下田 健一さん(群馬県)
- 佐海 忠夫さん(栃木県)
- 千葉 紀代子さん(郡山市)
- 児山 剛さん(南会津町)

たくさんのご応募
ありがとうございました!

応募総数
68点



最優秀賞

「それいけ!アンパンマン」

吉津 明さん(長浜)

雪まつりを盛り上げた町内各地のミニ雪像

雪まつりミニ雪像コンテスト審査結果発表!



優秀賞

「戊辰戦争の先人 松平容保公、河井継之助」

安全協会



入賞

「八重たん」 只見町商工会



入賞

「スノーマン」

栗城 勉さん



入賞

「リトルグリーンメン」 朝日保育所



入賞

「かまくらの中でひとやすみ」

蒲生集落活性化委員会



入賞

「かわいいパンダ大集合」

明和保育所



入賞

「スヌーピー」 只見郵便局

町内各地で卒業式・満了式

児童・生徒が希望を胸に学び舎を巣立つ



写真提供／福島民報社

▲拍手の中退場する卒業生



写真提供／福島民報社

▲感謝の答辞を述べる五十嵐夏希さん

只見高校・卒業式

3月1日、只見高校の卒業式が行われ、39名（内、山村教育留学生15名）が卒業しました。

卒業式では、猪俣豊校長が卒業生代表の佐藤奈菜さんに卒業証書を手渡し、菅家町長などが祝辞を贈りました。

生徒会長の新国潤平さん（2年）が「いつまでも只見高校を応援してください」と送辞を述べ、卒業生代表で前生徒会長五十嵐夏希さんが「たくさんの支援、応援をしてくれました。全ての人々に感謝しています」と答辞を述べました。

卒業生は在校生や保護者などの拍手の中、学び舎を後にしました。



▲卒業生一人ひとりに手渡された卒業証書

只見中学校 卒業式

3月13日、只見中学校の卒業式が行われ、31名が新たな一歩を踏み出しました。

今井仁校長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、「皆さんを応援している人がたくさんいることを忘れないでください。」と式辞を述べ、卒業生代表の服部杏菜さんが「3年間『いつてらっしゃい、お帰りなさい』と私たちを見守ってくれたお父さん・お母さんありがとうございました。」と感謝の答辞を述べました。



▲別れを惜しみながら「仰げば尊し」を歌う卒業生



▲充実した3年間と感謝の気持ちを述べた服部さんの答辞



▲保護者に感謝の花束を渡す卒業生



▲中学校生活の目標などを発表する卒業生



▲小林義弘校長から卒業証書を受け取る卒業生



▲「別れのことば」で6年間の思い出と感謝を伝える卒業生

朝日小学校・卒業式

3月23日、町内各小学校の卒業式が行われ、只見小10名、朝日小9名、明和小9名の卒業生が学び舎を巣立ちました。朝日小では、卒業生一人ひとりが小林義弘校長から卒業証書を受け取り、「中学校に行っても勉強に部活動に頑張りたい」などと中学校生活の抱負を発表しました。続いて、小林校長が「卒業生の皆さん、失敗を恐れず夢に向かって進んでください」と式辞を述べられました。



▲花束を手に退場する満了児



▲保育証書を受け取る満了児

明和保育所 満了式

3月24日、町内各保育所で満了式が行われ、只見保育所11名、朝日保育所7名、明和保育所9名の児童が満了を迎えました。明和保育所では、横田雅則所長から保育証書を受け取った児童がお父さん・お母さんの

もとへ歩み寄り、「いつも美味しいお弁当作ってくれてありがとう」などと感謝の気持ちを伝えました。満了式後には児童が「コマ回し」、「縄跳び」、「メロディーベル」などを発表し、成長した姿を披露しました。



▲満了式終了後、メロディーベルを使って「キラキラ星」などを披露した満了児



▲保護者の前で感謝の気持ちを伝える満了児

新教育長に辞令交付

渡部早苗教育長が就任

昨年12月1日から空席となっていた教育長について、4月1日付で前明和小学校長の渡部早苗氏（小川）が就任しました。渡部教育長は、町議会の同意を得て、町長から任命を受けて決定したもので、平成27年4月1日に施行された新教育委員会制度での最初の教育長となります。

4月2日、教育長の辞令交付式では、菅家町長から辞令書が手渡され、着任式では渡部教育長が「町の将来を担う子どもたちと生涯学習の推進のために取り組んでいきます」と就任の挨拶をしました。新教育長の任期は3年となります。



▲職員の前で就任の挨拶をする渡部教育長

県選挙管理委員会より

只見町選挙管理委員会へ表彰状

3月1日、福島県選挙管理委員会から只見町選挙管理委員会への表彰状伝達式が行われ、只見町選挙管理委員長の渡部英弥さんが出席しました。

これは、昨年10月の「第48回衆議院議員総選挙」において、只見町の投票率が82・27%と県平均56・69%を大きく上回り、県内で檜枝岐村に次いで2番目に高かったことや、啓発看板設置など町独自の取り組みが評価され、今回表彰されたものです。

伝達式では、菅家町長が同席する中、大谷英明南会津地方振興局長から渡部委員長へ表彰状が手渡されました。



▲大谷局長(右)から表彰状を受け取った渡部委員長(中)と同席した菅家町長(左)

只見町野生動植物保護監視員

平成29年度「活動報告会」を実施

3月4日、只見町野生動植物保護監視員の「活動報告会」が只見振興センターで行われ、保護監視員14名が出席しました。保護監視員は「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき、町内の野生動植物を保護・保全するために巡視や指導などを行うもので、平成29年度からスタートしました。

報告会では、保護監視員の活動報告や次年度へ向けた活動の意見交換などが行われ、引き続き町の貴重な野生動植物を町全体で保護・保全する機運を醸成するために活動していくことなどが確認されました。



▲貴重な野生動植物を町全体で保護・保全することを確認した報告会

復興から防災へ

つなぐ・つながるプロジェクト

3月11日、NPO法人ただみコミュニティクラブが主催する「つなぐ・つながるプロジェクト」が亀岡スポーツパークで行われ、東日本大震災の犠牲者を追悼しました。この活動は、これまで被災地復興支援として6回開催されましたが、東日本大震災から7年が経過した今回からは、「被災地から学ぶ地域の防災」として新たな取り組みで開催されました。会場では、かまくら内に追悼の意を表したキャンドルが設置されたほか、当クラブが町の防災マップを活用し、新潟福島豪雨からの教訓や防災の意識を高めました。



▲かまくら内で被災地の復興と追悼を表したキャンドル

黒谷在住の菅家吉次さん

満百歳で知事賀寿を贈呈

黒谷在住の菅家吉次さんが3月14日に満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られ、長男の達朗さんが「父が百歳を迎えられたのも地域や医療・福祉など関係者の皆さまのおかげです」と謝辞を述べられました。

吉次さんは子ども3人、孫8人、ひ孫6人に恵まれ、趣味の俳句では、当広報紙に毎月投句されています。長生きの秘訣は、体全体で呼吸し声を張り上げる独自の呼吸法だと話されました。



▲花束を手にする吉次さんとご家族の皆さん

郷土料理を学び次世代へ伝える

人材育成第8期生「閉講式」開催

3月20日、人材育成第8期生の閉講式が只見振興センターで開かれ、関係者約30名が出席しました。8期生12名は、「只見の郷土料理を学び、次の世代へ伝える人材の育成」をテーマに、郷土料理の文化やアレンジ料理などを2年間学びました。

当日は、これまでの成果として、黒豆ごはんやニシンの山椒漬、ヒザなど10品のアレンジ料理が披露されました。また、閉講式では菅家町長から受講生に修了証が手渡され、受講生からは「伝統料理と自分たちの味を伝えていきたい」などの目標が伝えられました。



▲講師の平出美穂子さんと山際博美さんを囲む受講生と関係者の皆さん

心の病気について理解を深める

「こころといのちを守る講演会」

3月16日、「こころといのちを守る講演会」が季の郷湯ら里で開かれ、民生児童委員など約20名が参加しました。

講師に県立会津医療センター臨床心理士の加藤善和氏を迎え、「誰も自殺へ追い込まれない生きやすい地域づくり」地域をつなぐ命を守る」をテーマに講演されました。

講演では、自殺を考える人の心理状況やその対応などについて説明され、自殺を防ぐためには身近にいる人が同意する形で話をしっかりと聞き、地域全体が寄り添い見守る環境づくりが大切と話されました。



▲心の病気について説明する加藤臨床心理士

平成30年度に向けた相談会

町内各地で「農政座談会」開催

3月19〜25日までの期間、平成30年度に向けた農政に関する相談会「農政座談会」が町内各地で開催され、多くの農業関係者や町民が参加しました。

これは、農地の保全や国の生産調整などの動き、町の支援事業などを説明し地域住民と意見交換する座談会で、JAと町が連携して町内全13箇所で開催しました。

蒲生集会所で開かれた説明会では7名の地域住民が参加し、米の放射性物質検査の動向や農業後継者の育成支援、米の食味向上研究による只見米のブランド化や流通などについて活発な意見交換が行われました。



▲3月22日、活発な意見交換が行われた蒲生集会所の農政座談会

15名が感謝の気持ちを伝える

「山村教育留学生14期生」送別式

2月28日、全国から只見高校へ進学した「只見町山村教育留学生」第14期生15名の送別式が只見振興センターで行われ、保護者や教育関係者などが出席しました。

送別式では、留学生一人ひとりが「将来は看護師になりたい」、「システムエンジニアを目指したい」など将来の目標などを発表し、卒業生代表の中山楓さんが「只見で過ごした3年間に感謝し、それぞれの目標に向かって頑張っていきます」と感謝の言葉を述べました。



▲3年間只見町で学んだ留学生15名の皆さん

児童が町の未来を考え取り組みを提案!

朝日小学校で「総合学習成果発表会」



▲児童の考えを提案した発表会

▼町のPRのために児童が制作したポスター



3月2日、朝日小学校で「町の過去や現在を知り、未来を考える」をテーマにした「総合学習成果発表会」が行われ、学校関係者などが参加しました。この発表会は、児童自らが地域の課題を見出し、自分たちで考えた町の未来を提案したもので、6年生9名が発表しました。

発表では、町の自然を守る取り組みについて提案した「只見ユネスコエコパークプロジェクト」や観光客を増やす取り組みについて提案した「只見町を観光名所に」など全4項目が発表され、町の未来について提案しました。

海洋教育から学んだ「町の将来」を発表

只見小学校が「学習発表会」を開催

3月14日、只見小学校6年生10名の「学習発表会」が只見振興センターで行われ、地域住民や関係者など約50名が参加しました。これは、2月4日に東京大学で開催された「第5回全国海洋教育サミット」において、只見小6年生が海洋教育から学んだ「町の将来」について発表しており、今回地域の方々にもその成果を発表したものです。発表会では、「国道289号八十里越の開通による海とのつながり」と「海と町の自然とのつながり」について2班に分かれ発表し、「交通の発展により外との交流のチャンスが増える」ことや「節水など家庭内でエコに取り組む『家(うち)エコ』」などを提案しました。



▲地域住民の前で堂々と発表した6年生10名

働くことの意味を学ぶ

只見中学校で「職業講演会」開催

3月20日、働くことの意味を学ぶ「職業講演会」が只見中学校で行われ、1・2年生と学校関係者が参加しました。講師に只見町在住のハンドメイド作家・Uggoly'sの新妻沙織さんを迎え、「出会いとチャレンジ」と題し、オーダー制によるハンドメイド作家を目指したきっかけなどについて講演されました。新妻さんが学生時代に感じた「人に合わせることより自己主張できる自分」の大切さや、就職して上司から学んだ「お客様に喜んでもらうことの大事さ」などを話され、「目の前のことに一生懸命取り組めば興味がわいて『楽しさ』にも気づけるはず」と生徒たちにチャレンジすることの重要性を伝えていました。



▲講演会後に行われたハンドメイド教室で説明する新妻さん

只見町ブナセンター

只見ユネスコエコパーク特別セミナー

「多雪環境のもとで生きる樹木の苦闘と強かさ」

3月4日、只見町ブナセンターが主催する「只見ユネスコエコパーク特別セミナー」が只見振興センターで開かれ、28名が参加しました。セミナーでは雪森研究所(富山市)の杉田久志氏を講師に迎え、「多雪環境と樹木の関係」について講演されました。杉田氏は、日本が世界でも有数の多雪地帯であることや雪が樹木の生育に与える影響、約40年前に浅草岳で行った積雪と植生の関係の研究などについて解説され、参加者は多雪環境に生育する樹木の生態などについて知識を深めていました。

したた



▲多雪環境と樹木の関係について学んだセミナー



▲ブナ林を観察する参加者

自然観察会

「冬のブナ林と動物たち」

3月18日、冬のブナ林で動植物を観察する自然観察会が「ただみ観察の森・下福井のブナ水源林」で開催されました。観察会では、下福井集落によって水林(みずばやし)として保護されてきたブナ天然林の特徴についての解説やブナの混合芽(葉と花の芽が一緒に入った芽)の観察、ブナの開葉時期についてブナセンター職員が説明しました。また、小枝の先のニホンノウサギの食痕や雪の下の林床植物の越冬の様子などを観察し、参加者は只見町の積雪期の自然や動植物について学びました。

地域住民などの1年間の成果を発表！

各振興センターで「地域の発表会」開催

文芸作品などの展示や体験コーナーなどを設けた「地域の発表会」が3地区の振興センターでそれぞれ開催され、地域住民などが参加しました。この発表会は、地域住民や各振興センターが1年間活動してきた講座などの集大成として開催されているもので、会場内には保育所児童から大人まで様々な年代の作品が並びました。当日はどの会場も多くの来場者で賑わい、地域の魅力が発信され、住民相互の交流が深められました。



▲(3月4日開催/朝日のいいもの集めちゃった市)
多くの人で賑わった餅つきセレモニー



▲(3月11日開催/只見振興センターまつり)
昔ばなしを披露する只見町昔ばなしの会の皆さん



▲(3月11日開催/明和小で開催した明和公民館まつり)
小林早乙女踊りを披露する明和小の皆さん

雪上の亀岡ビーチバレーコートで熱戦が繰り広げられる

「TADAMIスノースポーツフェスティバル2018」開催

3月3～4日、NPO法人ただみコミュニティクラブが主催する「TADAMIスノースポーツフェスティバル2018」が亀岡ビーチバレーコート特設会場で開催され、雪上バレーボール競技や雪上フットサル競技などが行われました。町内外から約300名が参加した同大会では、バレーボール元全日本代表の井上謙選手、ビーチバレー日本代表の田中姿子選手、サッカー元日本代表の名良橋晃選手、元なでしこジャパンの海堀あゆみ選手の4名が特別ゲストとして参加し、大会を盛り上げました。



▲井上選手や田中選手などのほか福島テレビ取材班も加わった雪上バレーボール競技



▲名良橋選手や海堀選手も参加し白熱した雪上フットサル競技キッズ部門。明和小Aチームが優勝を飾りました。

ロボットを自由に制御して創造力を育む 「ロボラボ教室」開催！

3月18日、只見振興センター主催の「ロボラボ教室」が同センターで開かれ、小学生11名が参加しました。これは、パソコンからロボットに指令を送り動かすといった体験教室で、講師に南会津ICT活用推進研究会の方々を迎え、ロボットの進行方向や停止位置などをプログラミングしながら様々なコースを走らせました。児童たちは、失敗から成功に結び付けるエンジニアの世界を体験しました。



▲児童たちから「楽しかった。またやってみたい」などの感想が聞かれたロボラボ教室

人材育成第9期生 雪あそびイベントを開催！

3月17日、「雪上ドッチボール&ボホコギゲスゾリレース」が青少年旅行村で開かれ、小学生や大学生など約20名が参加しました。これは、アウトドアプランナーを目指す人材育成第9期生がイベントの企画・運営などを学ぶために主催したもので、カンジキを履いて行う「雪上ドッチボール」とソリやごみ袋など4種類の道具を使って速さを競う「ゲスゾリレース」を行いました。参加者からは楽しかったなどの声が聞かれました。



▲カンジキを履いて雪上ドッチボールを楽しむ参加者の皆さん

ブナりん健康ポイント制度 祝20ポイント達成で健康グッズ贈呈

3月29日、保健福祉課が推進する介護予防事業「ブナりん健康ポイント制度」の健康グッズ贈呈式が布沢集会施設で行われ、20ポイントに達した9名が出席しました。この制度は65歳以上の方を対象に、各地で開催するサロンや同課主催の教室などに参加すると1ポイントが付与され、点数に応じて健康グッズや商品券などと交換できる制度です。ポイントに達した方は、同課までお問い合わせください。



▲ブナりん健康ポイント制度を利用する参加者の皆さん

介護予防や骨折予防を学ぶ 「転倒・骨折予防講演会」開催

3月30日、「転倒・骨折予防講演会」が季の郷湯ら里で行われ、約80名が参加しました。講師に県立医科大学の大谷晃司教授を迎え、介護予防や転倒・骨折予防などについて講演されました。講演では、転倒・骨折予防には日々の運動習慣が大切で、特に複数の運動を組み合わせることで効果が得られると話し、腰痛体操や大腿四頭筋訓練など数種類の体操や筋力トレーニングを紹介されました。



▲介護予防や骨折予防などについて講演する大谷教授

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「子ども・孫・ひ孫の相談といえば」

4月から診療所もリニューアルします。良いお知らせは常勤医師が3名から4名に増えることです。これまでより待ち時間が短くなり、予約も取りやすくなると思います。

所長の若山隆先生(只見勤務は8年目!)、こぶし苑も担当する森(只見勤務4年目)、1年前まで只見にいた山内健士朗先生(相馬市から戻ってきました)、そして初めて只見に来た鶴山保典先生の4名です。どうぞよろしくお願ひします。

さて、只見町の子どもたちはみんなとても元気ですよ。ただ、小さな子どもは熱、風邪、胃腸炎、皮膚のボツボツ、けがなど病院に行くことも結構よくあるのではないのでしょうか。先日、あるお母さんが初めての赤ちゃんと一緒に風邪のために診療所に来ました。ちょっとお話をすると「次の予防接種どうすればいいですか?」と尋ねられました。母子手帳を見ると、だいたいの予防接種は受けていましたが、大事なものがちょっと抜けていました。「次は体調がよければ〇〇と△△という予防接種

を×月×日頃に受ければ大丈夫ですね」といったアドバイスをしました。

10年前と比べると子どもの必要な予防接種はととも増えています。生まれてから2歳までの2年間で25回くらいやります。かつて子育てをした皆さん、こんなにたくさん注射をする事を知っていましたか?きっと大人は1回の注射でも嫌だと思いますが、子どもたちは受けています。予防接種は、肺炎や髄膜炎など命に関わるような病気を防ぎ、難聴などの重い後遺症を防ぐ効果もあります。

たくさん予防接種を計画的に打つことは大変です。もし予防接種のことで困ったら、町の保健師が相談に乗ってくれます。また、診療所の医師も子どもの予防接種をよく知っていますので、困ったときはお声かけ下さい。もちろん、基本的な子どもの予防接種は予約をすれば朝日診療所で接種できます。その他の子どもの健康に関する心配事も、診療所でご相談下さい。

地域おこし協力隊として 只見町観光振興協力隊

vol.41

橋本 拓馬



「冬の勤務地」

今年の冬の勤務地は只見スキー場でした。スキー場勤務は今年が初めてで、昨年は只見町観光まちづくり協会で仕事をしていました。スキー場での主な作業はゲレンデの監視・リフト乗車時の補助・圧雪車によるゲレンデ圧雪作業・除雪作業で、今年は例年に比べて雪が多く山麓・中間・山頂・各支柱の除雪作業がとても大変でした。なかでも各支柱の雪おろしが非常に大変で、支柱は全11本あり、その支柱までかじきを履いて歩いて行き、現場に到着したら支柱に登っての雪おろし作業になるので運動不足の私にとっては非常に大変な作業でした。

今年はとにかく雪が多く毎年1月に開催される「只見毎日杯」が連日の大雪により中止となりました。他にも2月に開催される「町民スキー大会」も大雪により危うく中止になるところでした。スキー場にとっては雪が多い方がとてもありがたいですが、大会や小学校のスキー教室の際には雪が少し降るくらいが丁度よいと感じました。来年は中止にならないことを願っています。

来年も町内外の利用者に満足して頂けるように努めて行きたいと思います。

ただみ水田雑草考 ⑥ (最終回)

絶滅のおそれがある水田雑草

只見町はブナ林や河畔林に代表される豊かな自然に囲まれています。ひよつとしたら田んぼの中でも、ほかではすでに姿を消した種類の植物がみられるのではないかと、只見町の水田雑草を調べたのはそんな思いからでした。しかし、確認されたのはコナギやオモダカなど抽水性の種類ばかりで、ヒルムシロやミズハコベのような浮葉性の種類、ミスオオバコ、ホッスモ、ヤナギスブタのような沈水性の種類、あるいはサンショウモやイヌタヌキモのような浮遊性の種類はまったく見かけませんでした。これらはみな広布種ですから、かつては只見町にも生えていたはずなのです。

福島県植物誌(二九八七)によれば本県に生育していた維管束植物(シダと種子植物)はおよそ二

七〇〇種類、そのうち福島県ですでに絶滅した植物および将来絶滅のおそれがあるとして福島県レッドリスト(二〇一七年改訂)に掲げられた植物は四分の一にも上ります。その中には水田雑草も二〇種類ほど含まれていました。只見町にも生えているものとしては、先に紹介したミズマツバ(蒲生)やウリカワ(小川坂田)のほかアギナシ、コホタルイ、シズイな

どの抽水性の種類があります。アギナシは、オモダカに似た矢尻形の葉を持ち、葉柄の付け根に小さな珠芽(むかご)をたくさん生じ、めずらしい性質があります。養分の少ない立地を好み、むしろ湿地植物としての性格が強い種類で、只見地区の山麓にある古い休耕地に生えていました。コホタルイは、イヌホタルイより穂が小さく苞葉が長いのが特徴で、蒲生地区



▲シズイの標本(2014.9布沢産)



▲アギナシ(2014.9只見の休耕地)

の耕作田にわずかに残っています。シズイは、茎の横断面が三角形で花序に枝のあるカヤツリグサ科の植物で布沢地区の耕作田でみられました。いずれも、イネの収量には影響しない程度の適度な共存という印象を受けました。

生物を絶滅に追いやる要因の八〇%は森林の伐採、各種の開発行為あるいは水質汚濁など人間の生産活動や生活にともなうものだとされています。田んぼの場合、農業の影響が大きいほか、表土を掘削するほ場整備事業も工法によっては無視できない外圧となり、耕作田にわずかに残っています。一方では、耕作の放棄による植生遷移で姿を消したという例も報告されています。水田雑草は、水の供給と土壌の攪乱が継続されていないと陸上植物との競争に負けてしまうのです。きつと彼らも何らかの形で自然界の微妙なバランスにかかわっているに違いありません。耕地に生物多様性を期待するのは無理としても、雑草をまったくなくすということではなく、農業生産に支障のない範囲で適度な共存関係を保つという選択があってもよいのではないかと思います。



町民文芸

只見短歌会 二月詠草

大塚栄一 指導

馬場 八智

吹雪く日はテレビを頼りに過ぎて来ぬやがての農に思ひ馳せつつ

小倉キミ子

深ぶかと積もりし雪に寝転べば沢音消へて空のみ見ゆる

渡部ゆき子

成人式の衣装に見蕩れわが時期は振袖などは知らず過ぎて来し

目黒 富子

拾ひ手と蒔き手となりて老二人節分の夜に賑ひのなし

新国由紀子

子を持たぬ従姉の誕生会に幼孫折り紙買ひ来て紙吹雪撒く

関谷登美子

久々に快晴となり雲間より雪原照らす日光ひかりに和む

渡部ヨリ子

節分に子供等の声聞かれぬも豆を煎りをり習慣なれば

飯島小百合

雪地より故郷へ帰れば暖かく梅の花咲き心がはずむ

新国 洋子

出窓より真正面の只見富士冬晴れの空に輝きて立つ

(出詠順)

只見俳句会 三月定例会

目黒十一 指導

吉 児

行合の夜空切り裂く流れ星
白雪を黄に染みにけり蒙古風

味代子
床上げに一杯のお茶春なけば
深呼吸すーとなじむ春の風

幸 生

寒月にすべて削がれて峰独り
凍て道や眉に結露の友と逢う

弘 子
三・一一献花の浜に涅槃雪
雪吊りを解かれし松に忘れ雪

信

この頃はわが師の恩なき卒業式
春来る涙と笑顔の銅メダル

礼
春北斗声あらば声知らしめよ
獣道の溜池止り雨水かな

都

ぎっしりと錠剤箱に余寒かな
青痣の点滴痕や春浅し

一 穂
霏ほやその上に又雪の嵩
馬鈴薯もろこし並べ芽出し促す春の陽よ

洋 子

水に石投じて空は春めきぬ
しなやかな猫の姿態の日永かな

修 一
会う人に話しかけたや木の芽時
雪晴れや村の人影少し増え



今月の お知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5120
会計室	☎82-5300
議会事務局	☎82-5230
農業委員会	☎82-5320
教育委員会	☎84-7180
学校給食センター	☎82-2219
只見保育所	☎84-2038
朝日保育所	☎86-2249
明和保育所	☎84-2221
朝日診療所	☎84-2612
(歯科)	☎84-2101
こぶし苑	☎82-2141
只見振興センター	☎84-2111
朝日振興センター	☎86-2111
明和振興センター	

試験

国家公務員「税務職員採用試験(高卒程度)」のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集するために、平成30年度国家公務員「税務職員採用試験(高校卒業程度)」を次のとおり実施いたします。

●受験資格

①平成30年4月1日において、高校卒業後3年を経過していない者および平成31年3月までに高校を卒業する見込みの者

②人事院が①に掲げる者に準ずると認める者

●受験申込受付期間

6月18日(月)から

6月27日(水)まで

●受験申込方法

▽受験申込みはインターネット

申込みとする。

▽国家公務員試験

採用情報NAVI

(<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

●第1次試験日 9月2日(日)

●問合せ先

仙台国税局 人事第二課

試験研修係

☎0222263111

国家公務員「一般職試験(高卒者試験)」のお知らせ

人事院では、国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)を次のとおり実施いたします。

●受験資格

①平成30年4月1日において、高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者

●問合せ先

人事院東北事務局

第二課 試験係

☎0222212022

人事

町職員の退職および新規職員のお知らせ

●異動・退職(3月31日付)

町政に尽力された次の方々が平成30年3月31日付で異動・退職されます。

《異動による退任》

▽朝日診療所医師

渡邊 孝一郎

《退職》

▽明和振興センター長

横田 雅則

▽総務課 主幹

渡部 信安

●福島県人事交流

次の方々が福島県との人事交流で異動されます。

《2年間の任期満了にて》

▽観光商工課から福島県へ

泉職員 佐久間 貴之

《新規人事交流》

税 今月の納期

4月25日までに

納めましょう

- 固定資産税(1期)
- 農集排使用料(4月分)

▽福島県から町民生活課へ

泉職員

橋本 走馬



●新規職員(4月1日付)

次の方々が新たに迎え、平成30年度がスタートします。

▽教育長

渡部 早苗

▽朝日診療所医師

山内 健士朗

▽再任用職員

鵜山 保典

総務課

酒井 恵治

明和振興センター

横田 雅則

教育委員会

山内 啓資

朝日診療所

長谷部ゆり子



開塾1年が経過した町の公営塾「心志塾」 —「心志塾」1年間を振り返る—

地域おこし協力隊 教科学習担当 渡辺 啓太



平成29年2月にスタートした町の公営塾「心志塾」は、今年2月に1周年を迎えました。「心志塾」の立ち上げから在籍していた3年生は3月1日で只見高校と「心志塾」を卒業し、それぞれの進路に向けて歩いていきました。「心志塾」は、只見高校の指導と連携して、生徒たちの受験勉強の支援や大学選択の相談など幅広くサポートしています。例えば、各自のレベル・目標に合わせて計画した「自立学習」では、分からない問題や苦手科目など講師と一緒に考え、生徒ができるようになるまで徹底指導しています。また、大学の推薦入試に向けた志望理由の添削や部活動後の生徒の指導も行い、幅広くサポートしています。

その結果、通塾した生徒たちは「第1志望の大学に合格した」、「英語や国語の偏差値が10上がった」、「高校の通知表で学年1位を記録した」、「国公立大学に合格した」などの成果が現れ、生徒の目標に向けた学力の向上を図ることができました。

今年度「心志塾」卒業生が合格した大学は次のとおりです。また、平成30年度「心志塾」に参加したい方は、教育委員会（TEL0241-82-5320）までぜひお問合せください。



平成29年度「心志塾」卒業生大学合格一覧

- ◆立正大学 地球環境科学部
- ◆関東学院大学 人間共生学部
- ◆会津大学 コンピューター理工学部
- ◆東北文化大学 医療福祉学部
- ◆東北福祉大学 教育学部
- ◆武蔵野大学 文学部

町長スケジュール

(3月分)

- | | |
|--|---|
| <p>1日 県立只見高等学校卒業証書授与式、一般質問検討庁議</p> <p>2日 朝日小学校学習報告会</p> <p>3日 TADAMIスノースポーツフェスティバル前夜祭</p> <p>4日 TADAMIスノースポーツフェスティバル開会式、朝日のいいもの集めちゃった市</p> <p>5日 ユネスコエコパーク連絡調整会議</p> <p>6日 只見町議会3月会議(~16日)</p> <p>10日 歳時記の郷・奥会津シンポジウム(柳津町)</p> <p>11日 会津方部自衛隊入隊・入校予定者激励会(会津若松市)、東日本大震災追悼復興祈念式(福島市)</p> <p>13日 只見中学校卒業証書授与式</p> <p>14日 百歳高齢者賀寿贈呈式</p> <p>16日 議会全員協議会、臨時庁議</p> <p>20日 雪まつりフォトコンテスト・ミニ雪像コンテスト表彰式
地域人材育成ダイヤモンドプラン事業第8期生閉講式</p> <p>22日 只見・金山・昭和県道改修促進期成同盟会総会(金山町)</p> | <p>23日 朝日小学校卒業証書授与式、只見町土地改良区理事会・総会、森林管理署南会津支署長来庁</p> <p>25日 只見婦人会定期総会</p> <p>26日 南会津地方振興局長来庁、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会、県出先機関長等歓送迎会(南会津町)</p> <p>27日 (福)南会津会理事会(南会津町)、南会津広域圏組合消防本部消防長来庁、南会津地方環境衛生組合事務局長来庁</p> <p>28日 渡邊医師離任式</p> <p>29日 只見線復興推進会議(福島市)</p> <p>30日 町退職職員辞令交付・離任式、只見町議会3月第2回会議、議会全員協議会、臨時庁議</p> |
|--|---|

町民の消息

(2月26日～3月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

三瓶 悠里^{ゆうり} (女/友洋・美佳) 叶津
飯塚 みさ (女/翼・まさみ) 只見
大竹 日生^{ひなせ} (男/隆二・友香) 布沢
大竹 乃碧^{のあ} (女/隆二・友香) 布沢
薄 拓慎^{たくま} (男/陽太・奈保美) 小林

■ご結婚おめでとうございます

蒲生 馬場 新樹♡中川 友梨 会津若松市

■おくやみ申し上げます

馬場 良作	81歳	蒲生
鈴木 正人	54歳	只見
渡部 洋子	86歳	小川
菅家 キヨ子	94歳	布沢

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成30年3月1日現在

人口	4,288 (-15)
男	2,098 (-9)
女	2,190 (-6)
世帯数	1,854 (-1)
高齢化率	45.32%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 14 出生 1 死亡 5

あとがき

▽4月号の発行で広報担当3年目を迎えることになりました。引き続き「広報ただみ」をよろしく願います。

▽昨年度を振り返ると、JR只見線不通区間の復旧決定や国道289号「八十里越」の開通を2023年に目指すといった明るい話題がありました。今年度もこれらの進捗状況や新しい話題など多くの情報を皆さまにお伝えできたと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(三瓶)

生涯学習サポーター

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★大家さんと僕



矢部太郎/著(新潮社)

1階に大家のお婆あさん、2階にトホホな芸人の僕(カラテカ・矢部太郎)。何かと「僕」に声をかけ、お茶や食事に誘い、世話を焼く「大家さん」。一方の「僕」も、「大家さん」の思い出話に耳を傾け、困った時には手を差し伸べる。一緒に旅行するほど仲良くなった不思議な「2人暮らし」の日々は、も

はや「家族」!?大切な人をもっと大切にしたい、泣き笑い、奇跡の実話漫画!

★まほうのじどうはんばいき



やまだともこ/著(金の星社)

学校のかえりみち、ぼくが見つけたかわったじどうはんばいき。ボタンとうけとり口があるだけで、しょうひんの見本もお金をいれるところもない。いったい、なんのはんばいきなんだろう。

じどうはんばいきから出てきたもの。カブトムシにさんすうのドリル、ぞうきんとチョコレート、それからさいしんのゲームき……。そのときぼくにひつようなものがなんでも出てくる。

はんばいきのところに行くのが楽しみになってきたある日、とつぜんはんばいきがぼくの前からすがたをけしてしまった!

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております、利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

マルバマンサク (学名: *Hamamelis japonica var. obtusata*)

[マンサク科 マンサク属]



▲マルバマンサクの花



▲マルバマンサクの果実

マルバマンサクは、北海道の西南部、東北地方～鳥取県の日本海側に分布する落葉低木です。関東西部より西側の本州、四国、九州の太平洋側に偏って分布するマンサクの変種にあたり、葉の先端が丸く扇を広げたような形をしている点から名前にマルバと付き区別されています。日本海側の多雪環境に適応しており、枝がしなやかで雪に埋もれても折れることはありません。葉は厚みがあり、葉の裏側の葉脈が分岐するわきに星状毛(1点から放射状に伸びる毛)が見られます。マンサクの名前の由来には諸説あり、葉を広げる前に花を咲かせる様子から「まず咲く」が訛^{なま}ってマンサクとなったという説があります。

マルバマンサクは雪解けとともに黄色の紐状の花びらを持つ花を咲かせます。山の斜面に多く見られ、雪崩斜面などの雪解けの早い場所では3月中旬頃でも花を見ることができます。只見町では、「まんさく」と呼ばれ、燃料材や樹皮が丈夫なことから稲を架けるハデ場の木や材木を結束するのに使われていました。また、「まんさくの花びらが長い年は豊作になり、短い年は不作になる」と言われています。4月になり様々な花が咲き始める前にマルバマンサクは一足早く春の訪れを告げてくれます。

企画展

「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例—

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

自然観察会

「春植物を愛でる！」(定員30名・要事前申込)

日 時:5月4日(金・祝) 13:00~15:00

観察地:黒谷川沿い林道

集合場所:朝日振興センター(12:30集合)

参加費:高校生以上500円、小中学生400円(保険料含む)

「残雪のブナ林を歩く！」(定員30名・要事前申込)

日 時:5月5日(土・祝) 10:00~14:00

観察地:癒しの森

集合場所:森林の分校ふざわ(9:30集合)

参加費:高校生以上500円、小中学生400円(保険料含む)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください